

第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ミライ
図書館がきりひらく航路

－悩み解決・つながり強化－

2017.9.5(火)-6(水)

愛媛大学 城北キャンパス

ワークショップ記録集

目次

班 No.	話し合いテーマ名
1	士気A
2	士気B
3	情報共有A
4	情報共有B
5	広報(図書館外での)A
6	広報(図書館外での)B
7	広報(図書館外での)C
8	企画・活動・団体A
9	企画・活動・団体B
10	企画・活動・団体C
11	企画・活動・団体D
12	企画・活動・団体E
13	図書館の利用A
14	図書館の利用B
15	図書館の利用C
16	図書館への要望A
17	図書館への要望B
18	学生とのコミュニケーション
19	活動の継続A
20	活動の継続B
21	学生の自主性A
22	学生の自主性B
23	学生のモチベーションA
24	学生のモチベーションB
25	広報・周知
26	役割分担・その他

※文字の写り具合の関係で一部、文字を補記しているところがあります。

※文字の大きさやペンの色によって見えにくい部分もありますが、ご了承ください。

1. 土気A

効果大

「みんなのやる気を上げたい!!」

取り組みにくい

取り組みやすい

効果小

新しいアイデアを
取り入れる

定期的なミーティング
を実施する

定期的なミーティング
を実施する

定期的なミーティング
を実施する

X-1メールを使った
集まりの企画に
参加できるようにする
(7-7-1メール)

定期的なミーティング
を実施する

定期的なミーティング
を実施する

定期的なミーティング
を実施する

定期的なミーティング
を実施する

定例会(ミーティング)
でみんなが話せる
ようにする

定期的なミーティング
を実施する

交流会など
関係性構築の
機会を増やす
ようにする

LINE, 掲示板
X-1メール
を利用する

定期的なミーティング
を実施する

定期的なミーティング
を実施する

定期的なミーティング
を実施する

定期的なミーティング
を実施する

2.土気B

STEP 1

人数不足

サワルの人数が少なくて、できることが残らなくている。

自分のことを優先しすぎている

よ否は見せる活動に積極的参加するわけではない

積極性に欠ける

活動に受動的な人が多い

活動するメンバーが固定化され

A 参加者少ない

活動の際に意見がまとまらない

目的がなく、ただ活動をやるだけになっている。

「自分のことを」と提案してくれんが限られている

A 同じメンバーばかり

A がんばる人ががんばらない人に別れる

A 参加者の偏り

自分のことを優先しすぎている

よ否は見せる活動に積極的参加するわけではない

やりたいことが見つけれない人が多

グループLINEで返事が少ない

マンネリ

活動日が少ない

活動参加募集の園心がメールに送信しにくい人が多い。

活動をやればなしになっている

学習センターが忙しすぎて集まることできない

A 空きコマが合わず集まれない

活動場所が固定化している

活動場所が固定化している

情報共有が難しい

メインテーマ
→ 積極性に欠ける

STEP 2 何が積極性に欠ける原因なのか?

また後の振り返りができない

優先順位が低い

イメージと違う

やりたいではなく「やらなくてはいけない」として活動している

仮の原因

- ● イメージと違う
- 「やりたい」ではなく「やらなくてはいけない」として活動している

STEP 3

1 もしかしたら原因はイメージと違うからではないか？

- 活動を始めた頃は積極的に参加していたが、だんだん参加しなくなってきた。
- 活動内容の周知ができていない。
- 広報に力を入れる。(説明と実際の活動内容とのギャップ有り)

仮説を確かめるために行うこと

・アンケートの実践

(対象を参加している人としていない人とで分ける。)

MORE STEP 原因はイメージと違うことだった！

⇒ 参加者の不満を知って減らす。

・サークル紹介に参加する。

・SNS等の活用。

- 定期的にSNS等を更新する。(週2)
- 活動した時に合わせて更新する。
- ロテーション制でSNS等の更新を行う。

3.情報共有A

課題

20人規模の
情報共有
(186)

5年time
毎1/21時間?
(21) - (20) = 1
(時)

LINE
(20人規模)

...

...

↑ ↓
個人
↓
個人

...

...

...

...

...

何と別行(20人)
・全行 (時)
・全行 + 10分

各大学の企画 + 形力 (4/24)



命の
社一

決断の
決断の

「現在」の情報共有

...

「未来(5年後)」の情報共有

紙
711x3
↓
(共有) 17x17x17
印刷 17x17x17

LINE
...

LINE
...

写真

新聞

設形図
共有

設計図

(SW/H)
・日時、場所
・経済合理
・公平、透明
・注意書き、便
711x3 (印刷用設計)
結果、気配
%

企画書

企画書 (SW/H)
企画書 (SW/H)
企画書の
企画書

企画書 → SW/H
企画書 → SW/H
企画書 → SW/H

企画書 (SW/H)
企画書 (SW/H)
企画書 (SW/H)

企画書の
企画書の

企画書の
企画書の

企画書の
企画書の

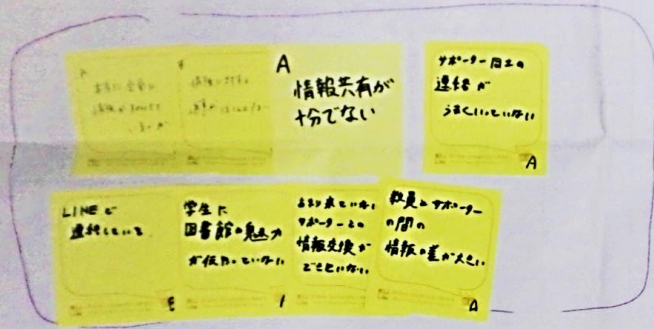
4.情報共有B

情報共有B

3/12 21:14 (2020.11.11)

STEP 1

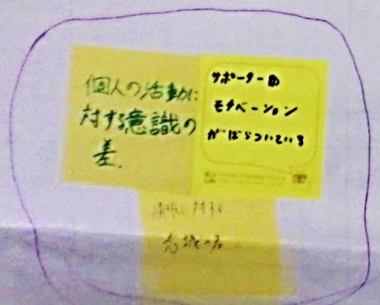
情報共有ができていない



職員と情報差がある

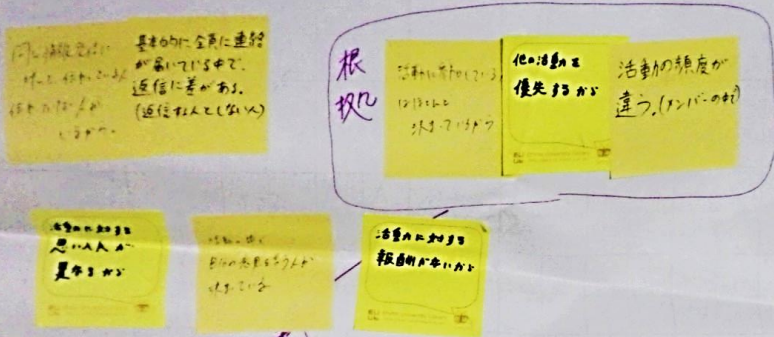
何が情報共有ができない原因なのか

STEP 2

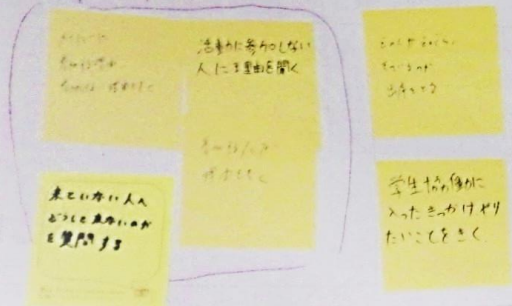


もしかしたら個人の活動に対するモチベーションの差が原因ではないか?

STEP 3



分析



アンケート
⇒ インタビュー 実行して確認する

5. 広報(図書館 外での)A

広報紙の具体案

- 広報紙の発行
メインページ
テーマ作り
- 独立した
広報紙を
発行する
- ネット上で
PDF版を
公開する
- 月1回の発行
を実現する

イベントへの参加促進

- イベント情報
発信し、参加
を促す
- 企業 イベントへの
参加を、参加者の声
を掲載する
- 図書館のイベント
を、参加者の声
を掲載する

学生団体の認知度向上

- D 活動を
理解して見
る広報
- D わかりやすい
広報
- D 人が集まる
広報
- 図書館のイベント
を知りたい
- 図書館のイベント
に興味がある
- 図書館のイベント
を知りたい
- 図書館のイベント
に興味がある
- 図書館のイベント
を知りたい
- 図書館のイベント
に興味がある

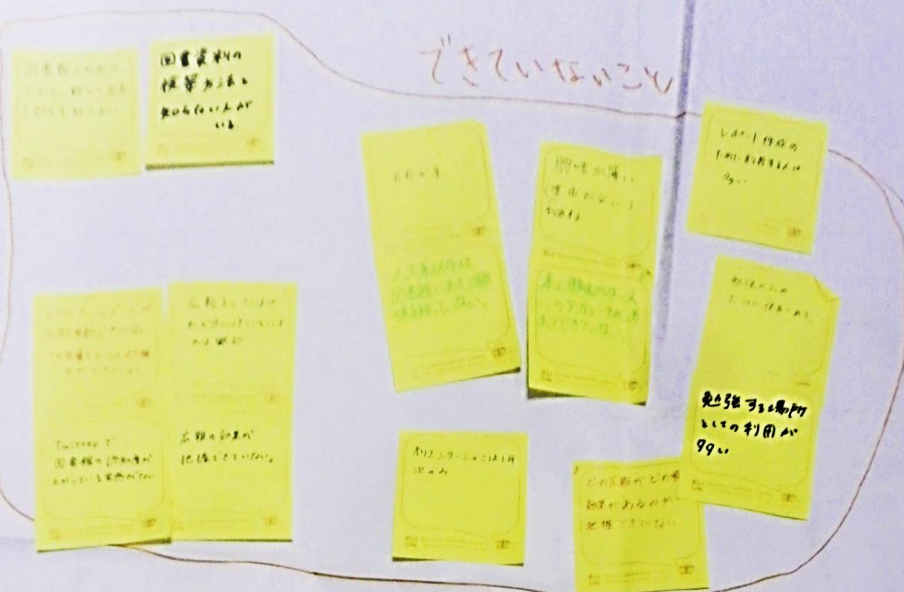
新しい利用の獲得

- 図書館のイベント
を知りたい
- 図書館のイベント
に興味がある
- 図書館のイベント
を知りたい
- 図書館のイベント
に興味がある
- 図書館のイベント
を知りたい
- 図書館のイベント
に興味がある

学生の声

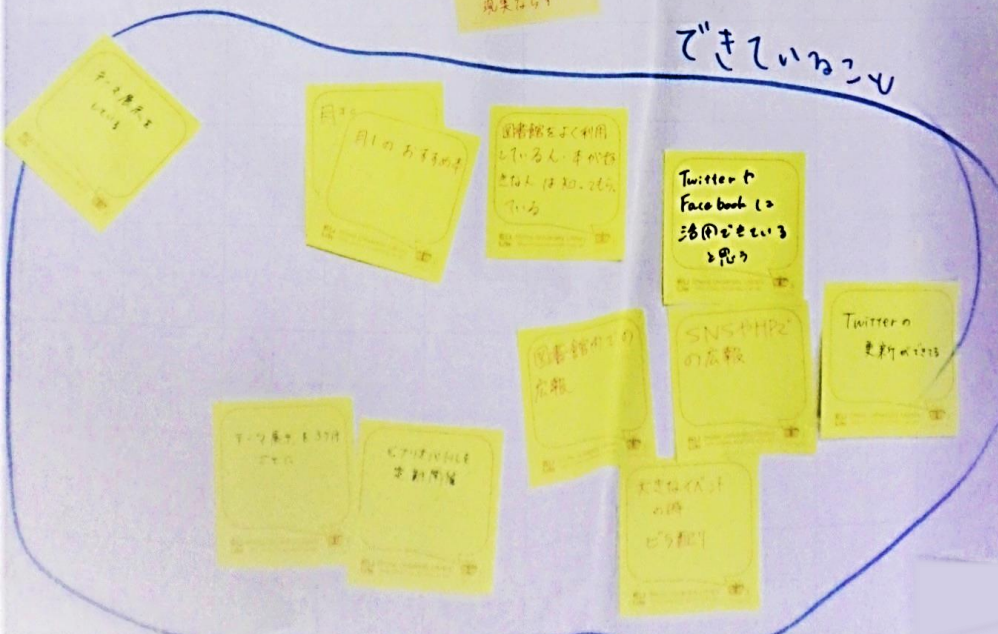
- 図書館のイベント
を知りたい
- 図書館のイベント
に興味がある

できていないこと



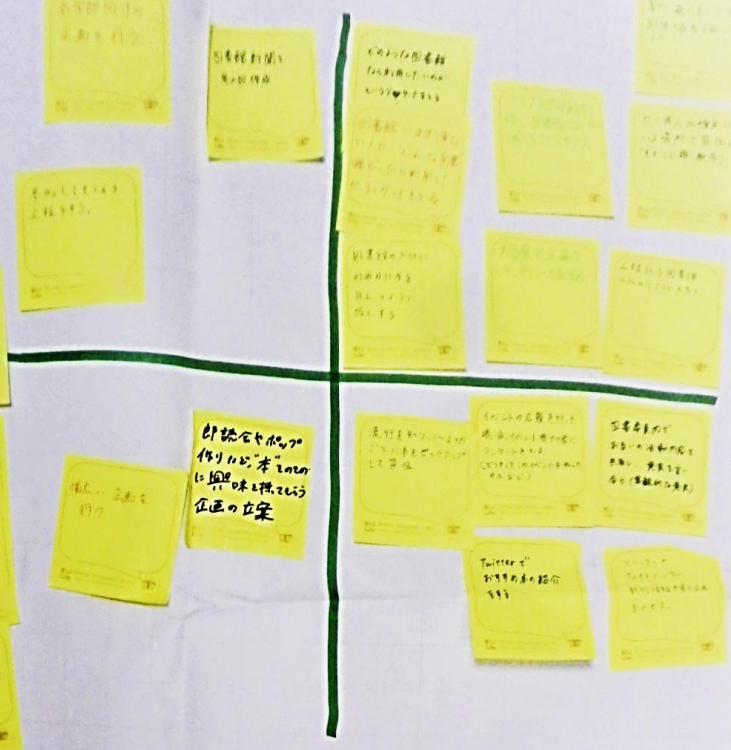
各学部の実践に
手配が各課室をして
もらおうと企画
↓
現実ならず

できていること



効果大

取り組みにくい



効果小

課題：どうしたら新しい利用者が獲得できるのか
 仮説：

- じのような図書館なら利用したいのかアンケートをとる
- オープンキャンパスや新入生オリエンテーションでの案内
- 大学祭でのアピール

6. 広報(図書館 外での)B

効果大



効果小

取り組みやすい

取り組みやすい

図書館の活動と
積極的な交流を
促進する
効果大

図書館の活動と
積極的な交流を
促進する
効果大

図書館の活動と
積極的な交流を
促進する
効果大

ツイッターやブログなど
多くの人に参加
しやすい方法で情報を
発信する。

効果大

効果大

図書館の活動と
積極的な交流を
促進する
効果大

人が集まる場所に
ホストをやる。

仮説: 図書館について知ってもらうには
どうすれば"良い"か?

① Twitterで"図書館の活動だけでなく
休館日などもつぶやいて、学生に便利だ"と
してもらい、フォローしてもらう。

↳ Twitterの利用者数が多いので

② 他団体のHPやSNSなどをよくみて
コンタクトを積極的にとってみる。

↳ 他団体との交流を増やすため。

検証方法

① 期日を決めて、フォロワー数の増減を調べる。

② 実際にコンタクトをとって、反応を確かめる。

・ 現在連携がとれている大学を成功例とする。

① 大きなイベントや人の出入り(例: 入学式、学園祭)
のあと、Twitterを更新する。

② 大きなイベント後に、交流できなかった大学と
コンタクトをとってみる。

7. 広報(図書館
外での)C

団体の認知度を上げる

現状

情報の伝達がいまいち
認知度が低い

学外者の利用が少ない

A 施設について
認知度が低い

図書館への興味喚起

団体の人数を増やしたい!!

イベントの参加者(増)

相談件を増やしたい

多人数イベントが200名以上ほしい!

情報と発信しても伝わりづらい
イベントもイベントに参加したい

図書館の興味喚起
会員の広報

⇒ 広報が不十分
(アピールの機会が少ない)

改善策

身近に感じられる

団体について知ってもらう

例: Twitter (日常的に)
フォロー RT 作品
学生のために必要な情報発信
- 教職員の協力
- ホスター (食堂・教室等)

活かす
意見をもらう → イベントを行う

例: 参加型
ビブリオバトル
ブックハンティング
映画鑑賞会展示
他との協力
売店 (生協) で本の紹介

例: アンケート (紙・Googleフォーム等)
意見箱
Twitter (リプライ, DM)

参加してもらう

実行するには (例)

- ・ 映画の鑑賞会 (月1や学祭) } 学校で (マンガ展示 (学校による))
- ・ ブックハンティング (学生が参加しやすい日) 外部で
- ・ 他のイベント (普段の日) 学校で

B Twitterタウンでは
お知らせも更新
頻度が低い。

8.企画・活動・ 団体A

目指せ! 湯水の如く

湧き出すアイデア!

現状

「〜」が「〜」
「〜」が「〜」
「〜」が「〜」

全員の仲の良い
グループ、活発
で参加している。
アットホーム
活動の幅が広い。

A 新しい企画を
A 去年と同じ活動
ばかりしている

ボランティア
活動の中心に
おられる企画に
おなっています。
(思いがけない)
活動の幅は
広い方であるが、
量は少ない

解決策

「〜」が「〜」
「〜」が「〜」
「〜」が「〜」

他大学の
活動も参考に
する。

団体の人だけで
なく学生の意見を
集める
(SNS や アンケート)

シンポジウムでの
交流も積極的に
行う。
(ケルンなど)

他の学生団体
との意見交換
一般の意見も
取り入れる。

近隣の
大学のサポ-
と交流の
意見交換

× 他大学の
企画を
参考に
する

「〜」が「〜」
「〜」が「〜」
「〜」が「〜」

図書館内
ミーティング

図書館に足を
運んだ人しか
企画に参加
できない

活動の幅
を広げる

結果：他大学の活動を参考にする場が欲しい!
(シンポジウムだけでは足りない! SNS, サポ-タルなど)

9.企画・活動・ 団体B

団体のことをもっと知ってもらいたい

団体の名前を
書いてほしい
新しいメンバー
の紹介をしてほしい。

SNSの
拡散率
上げる

学部学年の
範囲の拡大を
活かした企画
企画をする

SNSの
アカウント
が増えるように
したい。

企画への一般参加者を増やしたい

来場者の/
プログラムの
紹介を
できるように
する。

企画の魅力を
伝えることが
できるように
したい。

校外の学生
方法を増やす。

学部以外
の学生が参加
できるように
する。

図書館の利用者を増やしたい。

図書館の
利用者の
増加を
目指す。

図書館の
利用者の
増加を
目指す。

図書館の
利用者の
増加を
目指す。

図書館の
利用者の
増加を
目指す。

団体の基盤形成

団体の
継続を

メンバーが
集まるように
したい。

MTC中に
意見が飛び
かきやすい
環境に
したい。

メンバーが
10人くらい
ほしい。

メインテーマ 企画立案を スムーズにしたい。

企画立案の
スムーズに
したい。

企画立案の
スムーズに
したい。

図書館と
集まるように
したい。

企画立案の
スムーズに
したい。

企画立案の
スムーズに
したい。

企画立案の
スムーズに
したい。

改善策

団体内の
情報共有

少人数で話し
合い場を
設ける

他大学との
情報交換

現状

企画の
思いが
伝わり
にくい。

企画の
思いが
伝わり
にくい。

ミーティング
回数
が少ない

参加
者が
少ない。

参加
者が
少ない。

ミーティングの
参加の
質が低い

毎年
似たような
企画ばかり
企画が
多すぎる。

毎年
似たような
企画ばかり
企画が
多すぎる。

具体的な
企画を
立てて
実行する

今の時点で できていること

定期的に
MTC活動
をしている。

定期的に
MTC活動
をしている。

課題 「どうしたら企画立案が
スムーズにできるか？」

仮説 「他大学と情報共有をすれば」
実現できる」

- SKYPEで合同ミーティングを行う
- 他大学のデータをもらう
- インターネットやSNSを有効活用する。

10.企画・活動・ 団体C

現状の悩み

企画活動のマンネリ化

企画活動のマンネリ化

- ① 企画がマンネリ
- ② 新しい企画がやりにくい
- ③ 一穴のある企画作成が難しい
- ④ 一般の学生利用者が参加の企画に人が集まらない

情報

情報

- ① 情報共有が難しい
- ② やりたい活動があっても、団体や情報共有ができていない
- ③ 情報共有が難しい

予算

予算

- ① 予算が足りない

活動時間

活動時間

- ① 週あたりの活動時間が短い

参加者の固定化

参加者の固定化

- ① 参加者の固定化
- ② 企画参加者の固定化

活動の負担

活動の負担

- ① 仕事が多い
- ② 企画活動の負担が大きい

メンバーが集まらない

認知度が低い

何か変化のない活動の原因なのかな?



もしかしたら原因は

「楽だから」かもしれない

根拠

- ・発想力がない
- ・やる気が足りない
≡ 経済力・人数

仮説を確かめるために

- ・部員の参加率を確かめる
- ・過去の活動を振り返る

どうしたら解決できるのかな?

必ず参加する
日を決定する。
but 昼休みは
参加者がいる。

部員の
親ばくを
深める!!

イベント
への
参加

イベントや活動
で学んだことを
誰かが中心になり
進める。

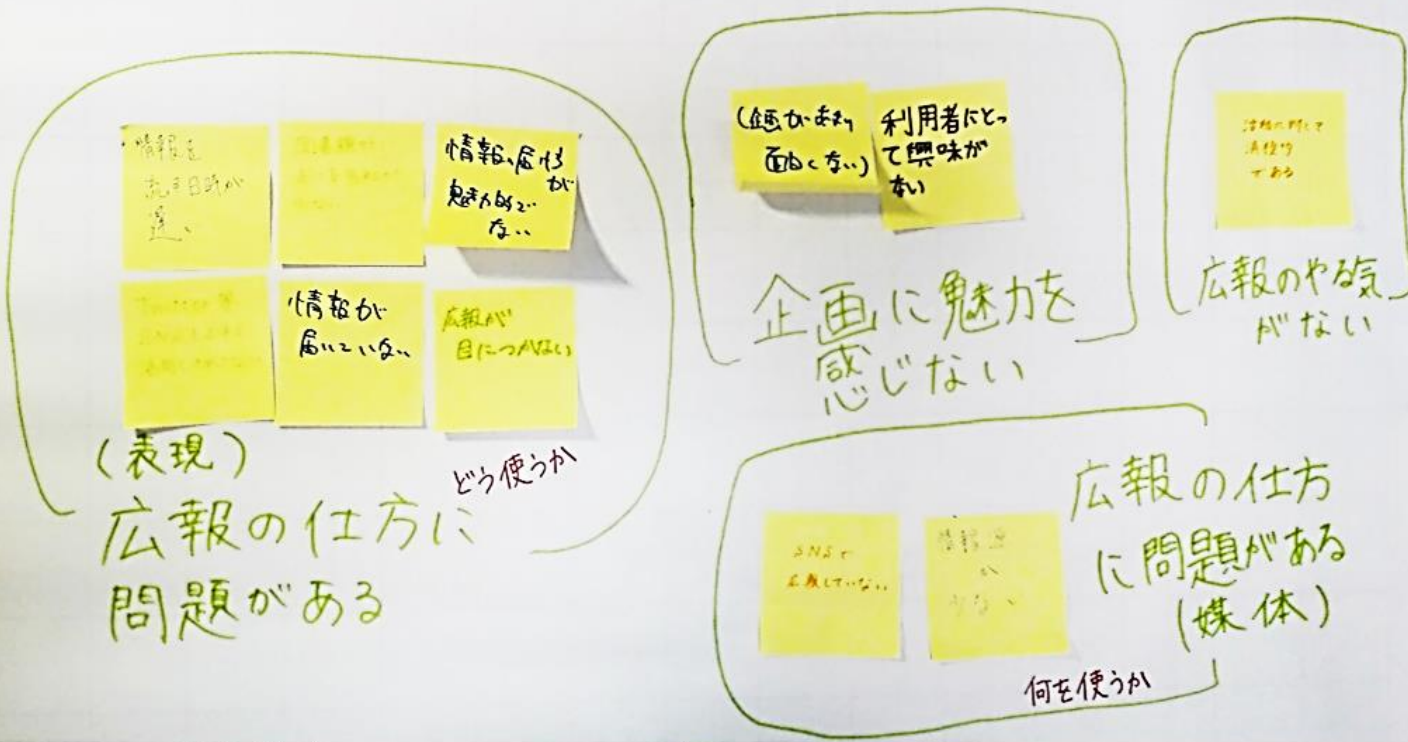
→ 誰が? 何で?
"自分"がやる!!

会議などの
環境をかえる。

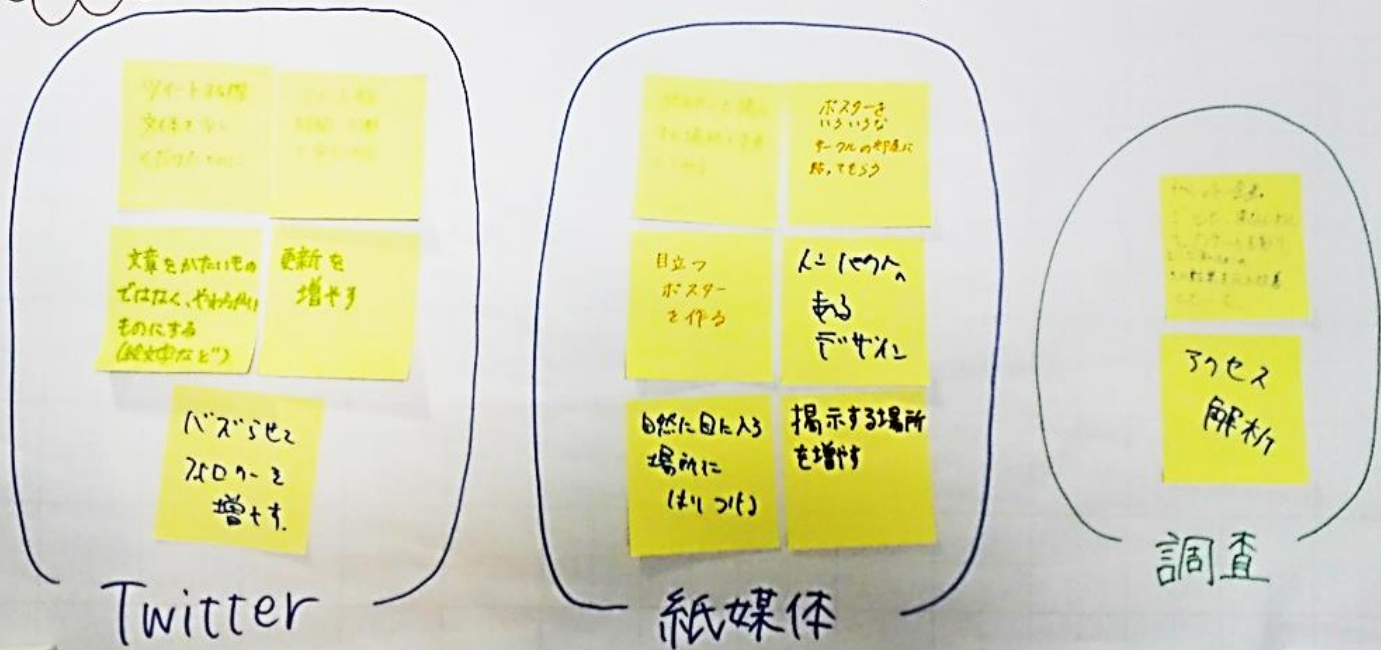
図書館の中での
静かたしな... いろいろ

11.企画・活動・ 団体D

何が企画・活動が知られていない原因なのか？

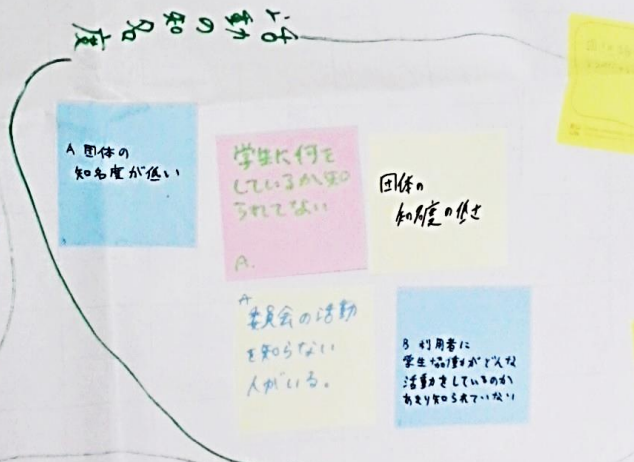
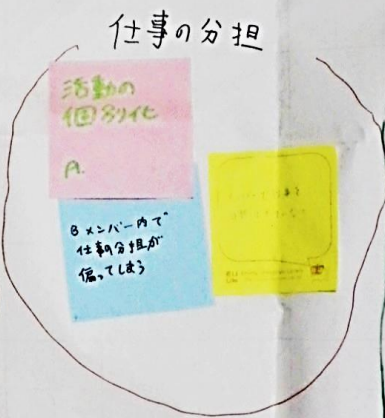
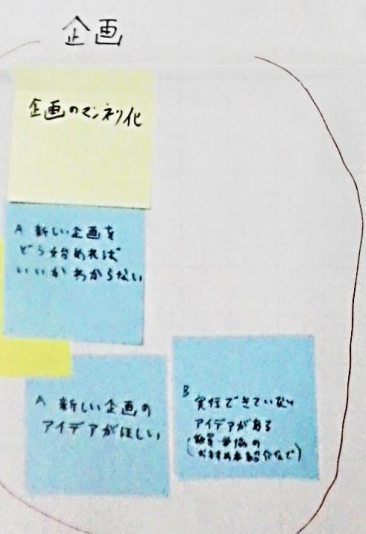
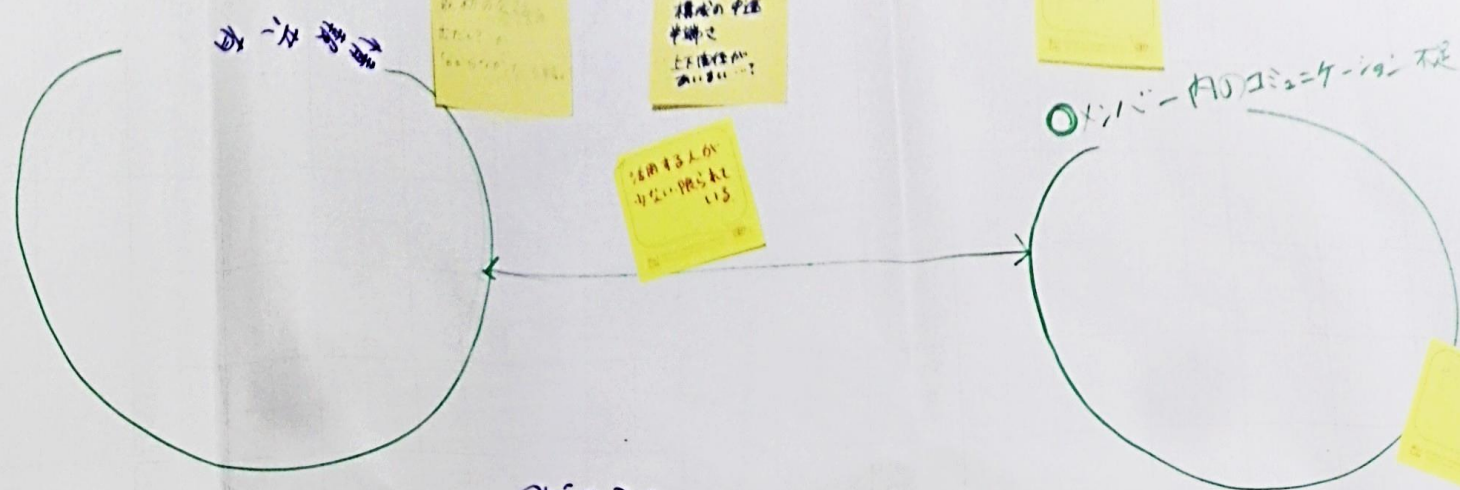


2つ例にあげてみました ↓
 ↓
 もしかしたら広報の仕方に問題があるのではないの？

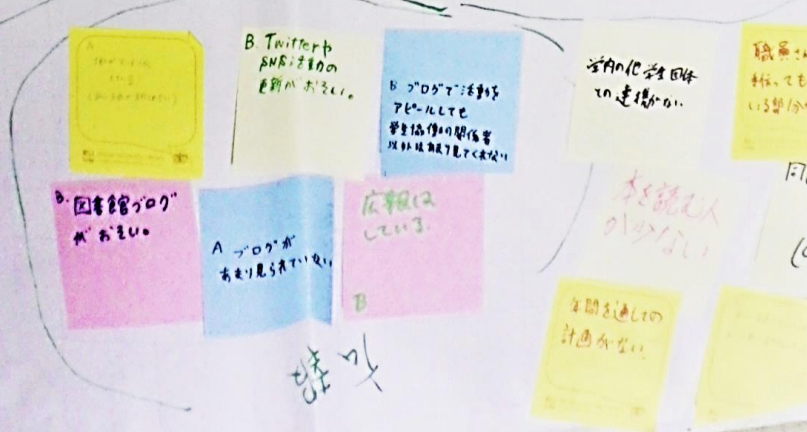


12.企画・活動・ 団体E

何が
メンバー内の
コミュニケーション不足の
原因なのか



- 仮説
- ・ 話し相手が少ない
 - ・ 話し手が固定化されている
 - ・ 個人が意見を言う場がない



何がメンバー内のコミュニケーション不足の原因なのか

コミュニケーション不足

コミュニケーション
現場が
少ない

メンバー内で
深く話す
機会が少ない

メンバーの
スケジュールが
合っていないから

メンバーが
固定化されて
しまっている

メンバーが
固定化されて
しまっている

メンバーが
自分が必要だと
思う
↓
意見がない

義務化。
仕事に
対して

仕事に
している

情報共有

情報共有不足

B. 週に一度、
お昼の時間に
集まるだけ。集まる
時間は短い。
(情報共有不足)

B. 週一以外の集
まりがない。全体の
情報共有が
少ない。

A. 活動時間
が少ない。

B. 活動時間
を増やさない
でいる。

メンバー内のコミュニケーション不足

A. 委員同士の
コミュニケーション
が取り合っていない

メンバー内
交流があまり
ない

A. 呼びかけを
していない

B. 他部署と
同士のコミュニ
ケーションが
少ない

毎週同じような
メンバーの交流

メンバー内
交流があまり
ない

全員が同じ
ような交流
がない

仮説

- 話す機会が少ない
- 話す相手が固定化されている
- 個人が意見を言う場がない



解決策

- 飲み会などの交流会の場をつくる
- 一から企画作成 (例: ワークショップ)

13.図書館の 利用A

図書館の利用A

効果大

効果小

取り組みにくい

取り組やすい

解決策

現状

現状

利用者数

ミラ

マ+

大学生以外でも利用できるように宣傳する。

定額制の導入

定額の導入

イベントを行う。

デジタル化による図書館入り

デジタル化による図書館入り

未読本の回収が完全ではない。

デジタル化

デジタルの知名度UP

デジタル化の認知度向上

デジタル化による図書館入り

利用者の増加

テスト前は学習室が埋まるほど利用がある。

展覧企画の準備が手遅れになることがある。

テスト前は利用者が多い。

企画展には不足を克服できる方法がある。

デジタル利用者を増やす方法が分からない。

学生による企画展を断っている。

デジタルの普及が本と比べ図書館に不利な部分がある。

文庫本が年1回あり → 学生目線と読めず未読本が増える

文庫本が年1回あり → 本の貸出数が少ない

本の貸し出し数が増える。利用率UP。

図書館の利用者数増加

詳細の利用者数が増える。学習室など

貸出数増加による利用者数増加

利用者の増加

貸出

留学生障がいを持つ学生など様々な人が利用しやすい図書館

デジタル化による認知度向上

勉強目的以外の図書館に来るようになる

デジタル化による認知度向上

デジタル化による認知度向上

デジタル化による認知度向上

デジタル化による認知度向上

デジタル化による認知度向上

デジタル化による認知度向上

デジタル化による認知度向上

デジタル化による認知度向上

どうしたら図書館の利用者が増えるか？

1 1
ドラマ・映画など、他メディアから小説化したもの、さらにはその原作を
宣伝・お薦めする。

2 1
「本が好きの人・嫌いな人」というテーマでイベントを開催し、
意見の共有をして、本の嫌いな人に読んでもらう対策の参考にする。

☺ 一般の方の利用ができることを宣伝する。

☺ 学生からのリクエスト本、アンケートなどから取り入れる。→蔵書数の増加へ

14.図書館の 利用B

図書館の利用B

図書館の 利用方法

マナー

テスト期間中の 利用

テスト期間は
座が足りなくな
る。

テスト期間中は
座が足りなくな
る。

一部の図書館しか
利用していない。

探したい本を
探すに時間
がかかる。

1年生にはまだ
図書館の利用方法が
定着していない。

初年度は...
2年生は...
3年生は...

環境

書庫に入り
にくい
(暗い・臭い)

夏は暑く大層
がめ利かいてい
ない。

学生が楽に
利用して
いる。

図書館の 利用に関する 悩み

何が利用方法が定着しない原因なのか

説明 不足

宣伝が
足りない

説明が不十分

初年度は...
2年生は...
3年生は...

その他

自習にしか
図書館を
使わない

本並に必要本を
用意していない

利用方法
が複雑

配架整理に
工夫していない

どうしたら 定着するか?

とりまに
く

日常的に
利用してもらう
利用の場作り

定期的に
図書館
ツアー

活動メンバーを
集めて話し合う。

利用方法の
説明の方法の
見直し

小さいカーンに
利用方法を
かけて配る

ミニ
カーン

利用方法
ポスターを
沢山つる

利用方法の
説明資料を
作成

利用案内の
制作

具体的な

解決方法は

何か?

大きなポスト

教室や
食堂に
ポスターをはる

学生の利用の多い
ところ等にポスターや
ポップをはる

化粧室、書架、
ラウンジルームなど、
目立つ場所に場所を
掲示

メンバーを集めて
ポスターや目立つ場所
などを作成する

小さなカード

スマホ、タブレット
にスマホ
対応のサイズに
デザインにする

スマホやタブレット
のサイズに合わせた
デザインにする

配る枚数を
きめおく

その他

月1回、図書

館サポートカードを出す

ツアーを行う

LINEやメールで他の図書館を
リストに個人の見解を見学し、参考に
する

オンラインショップに
アンケートをとり、
意見を参考にデザイン
や色合いを決める

15.図書館の 利用C

延滞なし。

試験期間に
おかわりすよく
利用される図書館。
定期的な学外の
イベント開催図書館

代わりの
近隣の施設が
利用しにくい
おかわりすよく
利用される図書館

他図書館と
交流連携を促す
図書館

図書館の機能を
フル活用。

設備の整備
本棚の余裕が
あり、整えられている
通路が少し
広め。
静かな閲覧
スペース。

相談しやすい環境づくり

スタッフ・学生が
積極的に話しかける
図書館
気軽に図書館
員に尋ねられる。
頼める。
学生スタッフが
やさしい図書館

利用者増加の現状

資料の充実
かある。
デジタル化の進歩が
利用を促進している。
試験期間が
近づくに利用
者が増える。
利用案内の
充実が利用を
促進している。
企画展示などを
行い、自習以外の
利用をうながして
いる。
無料配布の
利用案内の発行
が利用を促進
している。

現状の設備

ほとんどのPCが
閲覧用や作業に
近い。
図書が充実している
棚と、そのほかの
棚がある。
本棚が少なく、
通路がやや狭い。
ワークステーションを
使い、本棚に
スペースを確保している。
一部の学生は、
自習室がある。
あまり利用され
ない棚は減らさ
ることがある。
自習室がある

現状の課題

延滞者には
ペナルティを
科している。
注意喚起の
ポスターを
作成している
話が進まない。
よく延滞
リストのほう紙を
見かける。

相談しやすい現状

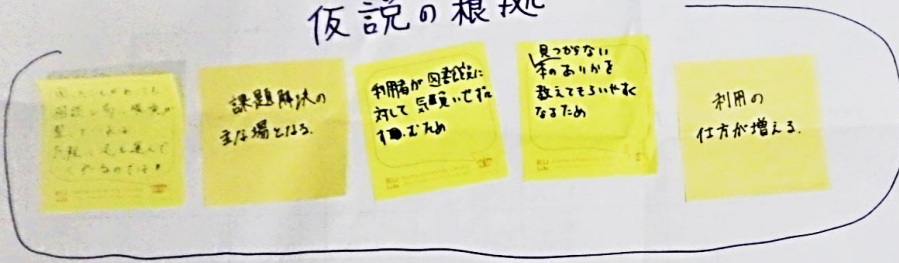
利用方法を
丁寧に質問
される。
図書館員が
少数。

定期的な学外の
イベント開催図書館
試験期間に
おかわりすよく
利用される図書館

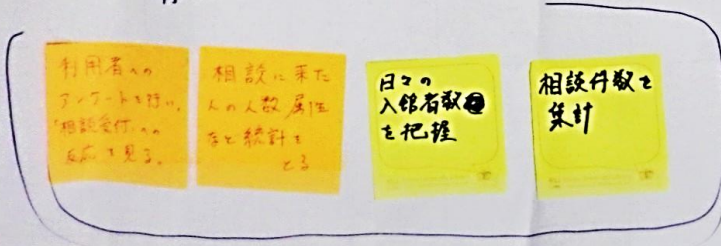
課題 仮説

どうしたら利用者は増加するか
図書館員が待機している所に「相談受付中」の様なものを
設置すれば実現できる。

仮説の根拠



分析と情報収集方法



相談員-数
利用者-数
入館者数
相談件数
相談件数-集計
入館者数-集計

効果大

写真など写真を
多く設置する

定期的 (check 期間
間) の イベント
開催

図書館が
提供している所
の 相談窓口の
設置

利用者の数に
合わせた
サービス

学内向けの
イベントと、学外
にも開催を付ける。

利用者の
多い等々利用
しやすい所に
置く

利用者の
利用しやすい
場所

取り組みにくい

取り組みやすい

話し合いの
場、利用者
の 獲得

読者の
名前を
公表

効果小

16.図書館への 要望A

意見・要望が少ない原因は何か？

図書館に意見を
預ける人が少
ない

他の一般学生
の要望を聞く
ことがあっても
（限りがたり）
or 伝えずに終わる

仮説1: 図書館側からのアプローチが少ない。

例: 興味を持っていない人から意見・要望を集めていけない。

仮説2: 目安箱やアンケートの回答が少ない。

アンケートの
意見・要望を
集めていない

意見を集める
目安箱などの
影響が大きい

仮説3: 意見を反映しようとしている姿勢を見せていない。

^{解決}
例: 報告がなされていない。

企画展示などで
本の紹介をして
利用者に感想
を聞く機会が
少ない

図書館
外への広報
が少ない

〔どのようにしたら解決できるか〕

○ 仮説1に対して○

・ 多くの人からの意見・要望を集めるために、授業等でアンケートを実施する。

○ 仮説2に対して○

意見を求める
ていることを
気づかない

- ・ アンケートの回答方法を工夫する。(投票式、マークシート式)
- ・ テスト期間中の利用者にアンケートをとる。(ボードにシールを貼る形式)
- ・ テスト後にアンケートを配る。
- ・ 図書館外に目安箱を置く。

○ 仮説3に対して○

- ・ 改善を写真やポスターを使って報告する。
- ・ 意見・要望の回答を掲示して共有する。

日々の小さな
要望に対応し
ていまま放置している

意見交換の
場を用意
して欲しい

① 意見収集に改善した点
→ 投票方式
→ 7-11回収方法を工夫する

利用者の存在を
如何に
見出し出し
利用者が
見え出し
環境にある

利用者への
接点が少ない
< 見えない

A1
7-11やコンビニ
の活用が
少ない

意見を出す
と困難な
意見を出す
意見を出す
意見を出す
意見を出す

意見収集の
方法
意見収集の
方法
意見収集の
方法

アンケートをとる。
→ ボードに記入して利用している人
→ 事後にアンケートを回収して見直し
→ 意見収集の方法はさまざま
→ 良い場合は活用

A2
iPhoneの充電を
忘れる。

利用者の意見
を収集する
方法

利用者の意見
を収集する
方法

図書館に
新しい本が
増える

手帳を
持ち歩かない

書架スペースが
足りない

ロープの
数が少ない

A3
営業時間が
短い

意見反映
しようとしている
姿勢が見えない

意見を伝える
方法も具体的
でない

意見収集の
方法

図書館職員
との関係が
悪い

本が読めない
人が多い

A5
矢張りまだ
利用者が少ない

図書館利用
者の減少
が原因

施設が
使いづらい

図書館
の活用

意見・要望の集め方が
わからない
効果が見えない

閉館時間が短い

17.図書館への 要望B

A 図書館、企画に
対する学生の希望がない。

学生の主体性が
ない。要望が少ない。

B 既存の企画、
運営をやられて
いるだけにある。

C 既存の企画に
対する要望がある。

D 主体性を持って
図書館の運営
新しい企画などの
要望(多量)が
発せられている。

C 要望を出すこと

D 利用者の
ニーズに応えたい

企画認知が低い

本の貸出期間が
短い A

貸り出し冊数
制限なし D

貸りかえる
冊数が
少ない A

貸出が不便

A シフトレスへの
対応が不安定

B 利用者さんが
困っている

B スタッフによる
サービスに
満足度が低い
人が多い

C カウンターに来て
利用者さんに
場所を教える

C 職員さんと呼ぶ

C 職員さんが
開けてくださる

D 音が極力
正しい対応をする

スタッフに言いたい

A 本を見つけやすく
してほしい

B 自己採の
紙がある
(館内に
大きく分かり
やすい
サインがある)

D 標式も配置

A 場所が
分かりにくい
部分がある

A 検索が
うまくできない

B OPACで出てくる
コーナーが分かり
にくい(場所も)

B 眼科のみ
がある
表示している

D PCの
横に使用法
なども置く

B 検索で
ほしいのが
見つからない

C 授業で

本が見つけにくい

A 授業コーナーに
新刊が入らない
のを入してほしい

A 小説の教本
が少ない

シリーズ揃えて
ほしい

シリーズ揃えて
通常利用者教を
増やしてほしい

学生の希望の
図本を購入
してほしい

小説、学術書
ともに充実させて
ほしい

A 資格関連の本が
少ない

種類が限ら
れていたり、
古い本が多い

1巻を外に
出してたり、他に
12巻にあたり

他電子パスか
らの取り寄せを
行っている

C TOEICコーナーの
展示

A ゲートが
めんどうかい

B カードを
忘れたら
入らない

D カードでは
なく
身に付けよう

D 利用者の
手間を省く

飲食ができる
場所が欲しい

利用者がカードを
忘れると入らない

トイレが
少ない

個人スペース
が少なく
狭い

虫が
多い

B 静かな音
(音楽が流れている
とか)がほしい

暑がり
寒がり

A ケンカと
喧嘩が
多い

A 静か

D 棚と棚
のあいだを
広く

D BGM
を流す

C 棚を
工夫している

音楽が
怖くて
怖い

TOEIC 展示

環境悪い

手間がかかる

メインテーマ: 手間がかかる

問題に対する
アイデア

ゲートが
めんどうかい

簡単に身に付
かせるために
変える

カードを
身に覚えが
たまる方法を
探す

主体認証
顔

音声認
証

ゲートを
たやすく

カードを
おぼえなくとも
入れるようにする

ゲートの
開放化

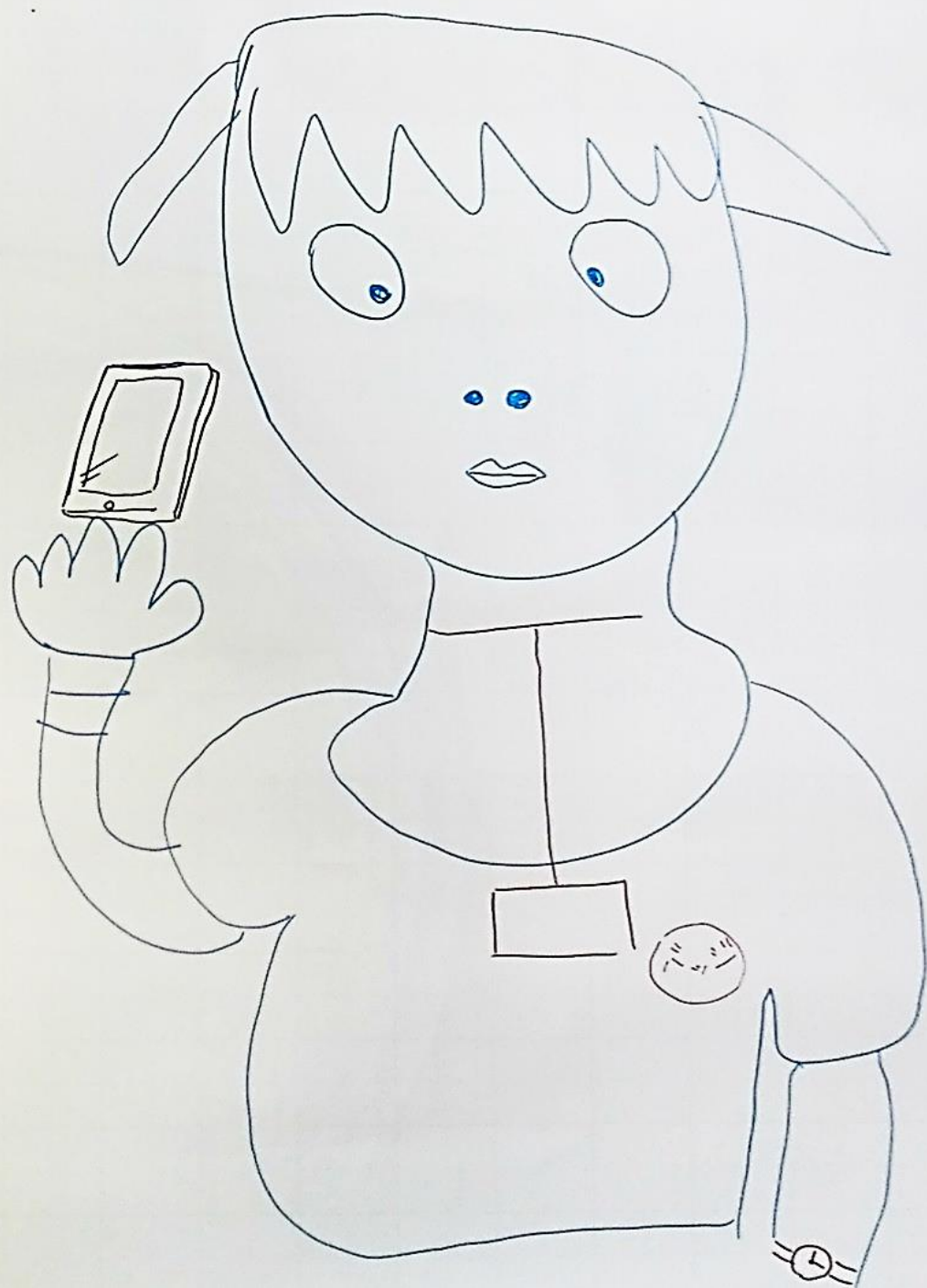
授業期間以外
は貸りかえる
冊数、期間が
多くなる B

本の内容が
利用者の
ニーズに
あっている C

問題解決のための手段

↳ 簡単に身につけられる物を
入館証にする

- ・ スマートフォン, リストバンド, 腕時計, バック
首から下げるやつ, 卒業と同時に切れるミサンカ



18.学生との コミュニ ケーション

学生の主体性を高めたい

できていること(主体性)

学生(僕)の
への工の状況
予定の報告を
といてた。

学生との
企画内容を
決まっていた。
(70-80%の
も、
進められた。

学生との
提案を(複数)
実践している。

活動の
かたより
(学生
職員の)

C. 学生の
やりの
教える。

C. 自身の
に
何
に
に

連絡方法

A. (1) 学生の
等に
手
A. 学生に
教える(調
種
時の
A. 学生に
来
交流の

A. 学生と
な
A. 学生
に
(は
に

A. 学生
来
交流の

D. 簡潔ではあるが、
理解しずらい説明
をすること。

D. 学生の状態に
合わせて、英語の
レベルを上げる。

C. 説明の時間は
長くないように
したい。丁寧に説明
がほしい。

関心、学生は
遠い。

D. 挨拶を
する
D. 困る
C. 丁寧な
言葉遣い

C. 図書館外
に
に

現状

学生の
関心、

個人
意見
共有
共有

学生
に
当日
に

B. 学生と
話している
(国、伊
に
に
に
に
に
に
に
に

B. 学生
に
に
に
に
に
に
に
に

B. 説明
に

学生と職員の
コミュニケーションの風通しを
良くしたい

効果大

取り組みにくい

学生の
やりかたを
共有
共有

意見相
を
設ける
→ 公表
活字
を
に

取り組み
やすい

意見
を
に

学生と
コミュニケーションを
通して学生の
主体性を
高めよう

19.活動の 継続A

学生の活動継続のために職員が出来ること

1. 仕組み作り

マニアル整備
学生間の連携
作り

記録を残す。
引き継ぎのために
担当者の役割
のやり方を
残す。

新入生
を入部させる。

学生の活動の
引き継ぎを
サポート

リーグを
決める

LSのような
仕組み作り

やる気がある
学生を入れる

2. 広報

有交の
情報発信

まわりの職員
(担当職員以外)
も学生の協働に
参加してもらう

有償無償に
かかわらず、活動の
意義を感じる仕組み
作り。
(夢プロジェクト等)

図書館で
活動する
企画がある
を作る

学生協働に
ネットが活用
される
(予算確保)

学生一般に
学生協働の存在
と意義を知ってもらう。

講義のサポート
などに学生も
参加してもらう

学内の他の
組織に
アピールする

学外に
アピール
する

3. 予算

中期目標の中
学生協働の文を
入れてもらう

サポート連携の
予算化

予算を
とってこく

学生協働の意義を
官制し、予算を
とる。

4. モチベーション

仲間が活躍
している
作りをサポート
する。

学生のやる気を
高める

合宿やイベント期間
学生のモチベーション
を上げる。

成功体験の
楽しさを増やす
機会を作る

学生の成長に
繋げる

コミニケーション
の場を
設ける。

5. 連携

学生課との
連携

教員と
連携する

20.活動の 継続B

活動の継続性

学生

教職員

引き継ぎ

業務

引き継ぎ
できていない

ノウハウの
共有が
できていない

業務

業務

引き継ぎが
必要という
意識が足りない

引き継ぎが
ない

学年間の移行
がわからない

学内学外
越境の交流
上下関係
不明

前年度の活動
の記録が
ない

母体活動に
等しい

マニュアル化
していない業務が
多い

業務・成果
が不明

なぜか

なぜか

理由

理由

多岐
方法

活動には
柔軟な対応
が必要

学内学外
交流
↓
連携
活動

学内(学)
要する
(研究もある)

時間が
限られて
いる

レポートの
意識

仕組みが
ない

引継ぎの方法
がわからない

知識(目的)
不明

自分の活動が
完結する
楽しい活動
前提

サポーターの
参加意識が
低い

連絡・コミュニケーションが
不足している

成果が何なのか
不明

図書館の
評価

業務内容が
決まていない

評価は毎年!
継続
10000
10000

人による
差がある
評価が低い

公務として
評価されている
業務の位置
が不明

マニュアルや
事例がほとんど
ない

評価
評価
評価

明文化する

学生の主体性を損なわない

ただし

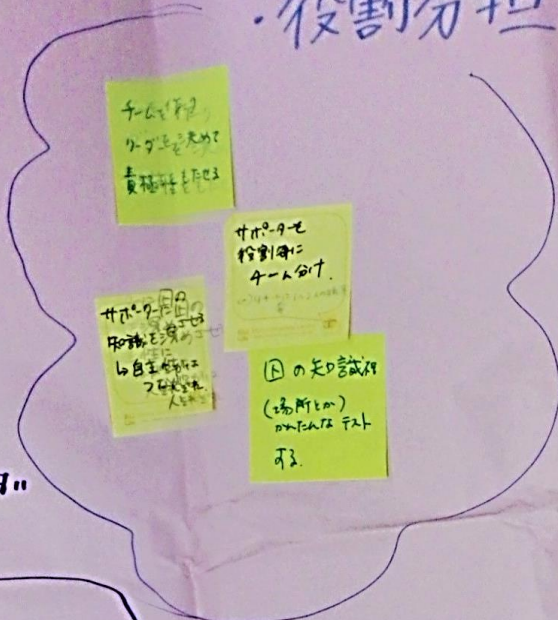
21. 学生の 自主性A

解決策

チーム活動 ・役割分担

スケジュール 管理

- 自主企画には立案の期限をつける
- 計画書を出させる
- 活動日を決め、ランチャミーティング(書記司会)を
- スケジュール管理の権限
- スケジュール感を小分けに示す
- 決めた企画を最後までやる

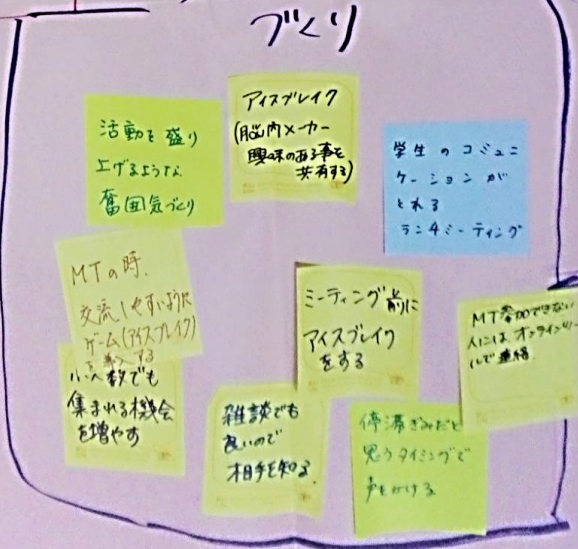


コミュニケーション取りかた

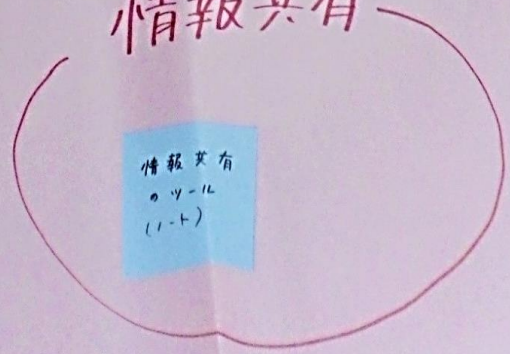
雰囲気作り

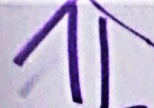
職員からのアプローチ

- なるべく否定はしない
- どこまでOKどこからNGを明示する



情報共有





課題

自主性

A 自主性の引き出し方

目的物がない

そもそも何を?

自分考え出す能力
企画立案後...

自主企画があまりない

学生相手のコミュニケーション

声かけの仕方

取組の言い方?

意見が見えない

A 悩み
職員からいって声かけたい

どこまで踏み込ませる?

コミュニケーション

B オンライン毎週おこなっているのにオンライン上では活用しない

A 悩み
どんな仕組みづくりをすれば学生が参加しやすいか

A 悩み
図書館から学生への連絡方法(一斉メール? SNS?)

A 悩み
初めての図書館サークル、何から始めようか

B 現状
職員から他に何をすべきか、活動が活発か、参加者がいるか

意見出しや参加のハードルを下げたい

理想はあっても口に出さず、予算がムリと深めてほしい

積極性のある上級生や卒業生に他者が付く、活動が活発か

B 現状
ごく一部の優秀な学生や意見に外注している

A 悩み
イベントがある学生をどう呼ぶか

A 悩み
人数が少ない、活動が活発でない

予算がない

B 現状
サークルの経費も出せていない

17. 副リーグを決める

活動が年度頭に企画立案が3月までに終わりにする

Eメールで状態確認

反省点は見えてる

停滞

企画がなかなか進まない

B 現状
定期的な活動ができていない

企画立案して2ヶ月経っても別人に任せている

A 悩み
活動が停滞している

B 現状
展示用、本選など、止まっている

A 悩み
人数が少ない、活動が活発でない

22. 学生の 自主性B

23.学生の モチベーションA



23. 学生のモチベーションA 原因は、何だ!

STEP 1 お悩み 成長を実感できてない。

A. 学生が成長を実感できていない理由

A. B 活動の成果が見えにくい

A. B 活動の定量的評価ができていない

STEP 2. 原因

A. 不明

A. 学生の成長の目処が不明

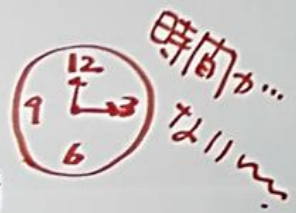
A. B 活動の成果が見えにくい

A. B 活動の成果が見えにくい

A. B 活動の成果が見えにくい



活動が内向き



STEP 3・4 仮説と打ち手

・フチ成功体験を積み重ねる

知らない人と話す
オーキャンで高校生と話す



外に出る

シンポジウム
サミット

自己評価
学生も
職員も

24.学生の

モチベーションB

A
仕事が少ない
学生スタッフの
理解が難しい

学生スタッフは、
学生スタッフから
意見を聞き出し、
改善を出さなければならない。

学生間の
活動への
温度差がある。

学生間に、
活動への
温度差がある。

A
利用が学生に
少ないため、学生の
モチベーションが低い。

B
活動に参加して
いない学生は、
なぜ参加しないのか
を聞いてみる。

A
空室時間を
活動の企画に
活用する。

館内利用を
利用者に十分
周知している。
学生スタッフがいる。

学生のモチベーション
を高めるために、
活動の企画に
参加してもらう。

例えば、企画
案を提示して
活動する人が
少ないのは、
利用者の
関心不足が
原因。

学生の
参加に対する
責任感が
不足している。

学生と職員との
連携が
とれていない。

学生は、
ボランティア
活動の企画に
参加している。

何が原因なのか？

学生スタッフ同士の
意見交換が
少ない。

意見交換の場を
設けて、学生
同士の意見交換を
促進する。

学生スタッフ同士の
コミュニケーション
が不足している。

学生スタッフ同士の
コミュニケーション
が不足している。

性格の
不一致が
ある。

性格の不一致が
ある。

一緒に活動する
仲間、
例えば、
「ボランティア」と
認識している。

職員が考える
「ボランティア」
とは、
実際の活動の
内容が異なる。

もしかしたら原因は
「タイミングを逸して
やる気を失ってしまう」
からではないか？

経験の差
がある。

勤続年数が
増えるほど、
他の経験が
おぼろげに
生じてくる。

一度企画を
立てたとしても、
その間に企画
の変更が必要
な場合がある。

タイミングを
逸して
やる気を
失ってしまう。

学生の欠損
行動を分析
して、
改善策を
考える。

学生の欠損
行動を分析
して、
改善策を
考える。

学生の欠損
行動を分析
して、
改善策を
考える。

スタッフ間の
スケジュールの
不一致がある。

やりたいこと
との差がある。

スタッフ間のスケジュールの不一致は どのようにしたら解決できるか？

効果大



調整を依頼する
日時を調整する
余裕のある方に
合わせるようにする

調整を依頼する
日時を調整する
余裕のある方に
合わせるようにする
(メンバー間の調整)

スケジュールの
不一致を
調整する
スケジュールの
不一致を
調整する
スケジュールの
不一致を
調整する

「調整さん」
などを使い
事前に各メンバー
都合を把握する

日布勤務
PJのMTG
などへの
スタッフの出席
記録をつける

取り組
み
に
く
い

取り組
み
が
や
す
い

効果小

25. 広報・周知

26.役割分担・ その他

Win Win ぞ

職員も学生も

無理なく

楽しく

継続する

現状

職員少人数
 金銭
 報酬
 モチベーション

仮説

モチベーション
 組織の
 学生に
 学生
 職員
 20-

視察

29-10
 2年
 提案

分析

実績
 成功

組織に必要材料

協力

国内
理解
学内
認知

学生の
育成

学年
引継ぎ
学生
同士の
情報
交換
大学の
交流

予算

企画
立案
→
モチベーション
維持
向上